

News Letter



富山大学環境
マスコット
キャラクター
とみまる君

contents

- 環境内部監査員
養成講習会 受講者募集のお知らせ
- GHSラベルについて
- トラッキング火災について
- 安全標語の採用作品について
- グリーン活動日記

Vol.7
2016.7



環境内部監査員 養成講習会の受講者を募集します！

環境活動

【日時】 平成28年9/29(木)～30(金)

両日とも 10:00～16:00

※2日間連続受講が可能な方に限ります。

【会場】 富山大学五福キャンパス（予定 災害対策プラザ）

【講師】 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
チーフコンサルティング 佐野真一郎氏

【対象】 富山大学の学生・教職員

【費用】 無料

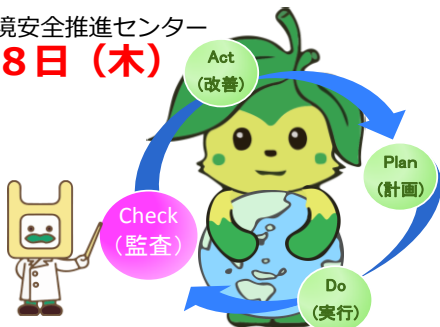
【主催】 富山大学環境安全推進センター

【申込〆切】 9月8日(木)

今年も学生の皆さんや
教職員の方々を対象に、
環境内部監査員 養成
講習会の受講者を
募集いたします。

学生の皆さんにおいては、
本学の環境内部監査を行うことによって、環境マネジメント運営
に関わり、また環境内部監査の実施後には、本学の環境マネジメ
ント部会にて発言ができるなど、普段の学生生活ではできない経
験ができる良い機会となります。

ご興味ある方は是非、お申込みください。



申込方法

メールまたはFaxにて お申込みください。

・件名は「環境内部監査員」

・本文には

①名前（漢字、よみがな）

②学部、学年

③携帯電話番号

④その他（質問など）

⑤Faxにて申込された方のみメールアドレス

【申込先】 ensahe@adm.u-toyama.ac.jp

Fax 076-445-6074

対象
富山大学の
学生
教職員

講習内容

(1) 講義

- ①ISO14001（環境マネジメントシステム）の概要と規格要求事項の解説
- ②富山大学環境マネジメントシステムの概要説明
- ③内部監査の実施手順について

(2) 演習

- ①事例に基づく監査チェックリストの作成
- ②監査事例による不適合事項の特定
- ③是正要求書の作成

体験談

先輩方の体験談を、環境安全推進センターHPに掲載して
います。ご興味あるかたは検索ください。（学内限定）

富山大学 環境配慮活動 監査員

検索



化学物質の有害性を示す GHSラベルに注意しましょう

平成28年6月1日施行の、労働安全衛生法改正により、危険有害性のある化学物質の容器などにラベル表示（GHSラベル※）が義務付けられました。以下のGHSラベル等がある化学物質を初めて使用する際には、必ずSDS（安全データシート）を確認し、危険性 及び有害性等を確認するようにしてください。

※GHSとは、化学物質の危険有害性を、世界的に統一された一定の基準に従って分類、絵表示等を用いて分かりやすく表示し、それをラベルやSDS（Safety Data Sheet：安全データシート）に反映させて、災害防止及び人の健康や環境の保護に役立てようとするものです。



取扱いや保管に
気を付けてね！

発がん性

眼の損傷

やけど

酸欠

毒性

爆発

	意 味	取扱上の注意
	- 爆発物 - 自己反応性化学品 - 有機過酸化物	熱、火気、高温のような着火源から遠ざけること。 保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用すること。
	①可燃性／引火性ガス ⑥自然発火性液体 ②エアゾール ⑦自然発火性固体 ③引火性液体 ⑧自己発熱性化学品 ④可燃性固体 ⑨水反応可燃性化学品 ⑤自己反応性化学品 ⑩有機過酸化物	熱、火気、高温のような着火源から遠ざけること。 空気に接触させないこと。（自然発火性物質） 保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用すること。
	①支燃性／酸化性ガス ②酸化性液体 ③酸化性固体 他物質の燃焼を助長するようなものを表しています。	熱から遠ざけること。 可燃物から遠ざけること。（衣類、紙等） 保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用すること。
	・高圧ガス ガスが圧縮または液化されて充填されているものを表しています。	換気の良い場所で保管すること。 耐熱手袋、保護衣および保護面／保護眼鏡を着用すること。
	①金属腐食性物質 ②皮膚腐食性 ③眼に対する重篤な損傷性 接触した金属または皮膚等を損傷させる場合があります。	他の容器に移し替えないこと。（金属腐食性物質） 粉じんまたはミストを吸入しないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用すること。
	・急性毒性 飲んだり、触ったり、吸ったりすると急性的な健康障害が生じ、死に至る場合があります。	飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付着しないよう気を付けること。 保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用すること。
	①急性毒性 ②皮膚刺激性 ③眼刺激性 ④皮膚感作性 ⑤気道刺激性 ⑥麻酔作用	飲食または喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。 眼、皮膚、衣類に付着しないよう気を付けること。 保護マスク、保護手袋、保護衣および保護眼鏡／保護面を着用すること。 ラベルに記載された注意書きに沿って取り扱うこと。
	①呼吸器感作性 ②生殖細胞変異原性 ③発がん性 ④生殖毒性 ⑤特定標的臓器毒性（単回ばく露） ⑥特定標的臓器毒性（反復ばく露） ⑦吸引性呼吸器有害性	飲食や喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗うこと。 吸入しないよう気を付けること。 推奨された個人用保護具を着用すること。
	・水性環境有害性 環境に放出すると水生環境（水生生物およびその生態系）に悪影響を及ぼす場合があります。	環境への放出を避けること。



電気火災を防止するために

夏は高温多湿となり、差込みプラグやコンセントなどの配線器具からの火災発生頻度が高まる季節です。このような電気火災を防止するため、研究室、職場、自宅の配線器具について下記のような点について留意し、点検を行いましょう。



電気火災は、

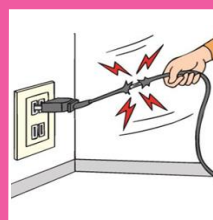
電気製品を
使用してなくても、
電源OFFでも、
あとなが不在でも、
起こるんじゃないよ！

1.こんな使い方は止めましょう



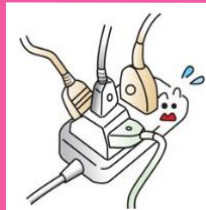
① ほこりを溜めない

トラッキング火災が発生する可能性があります。（下記参照）
こまめにプラグを外し、乾いた布でホコリを取り除きましょう。



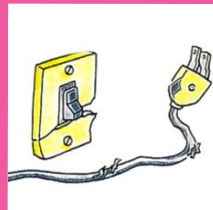
⑥ コード部分をもって引っ張らない

コードの中の電線が半断線状態になって電気抵抗が大きくなり、過熱して出火することがあります。



② たこ足配線をしない

許容電流以上の電流が流れると発熱し、出火する危険があります。



⑦ 長年使用している電気製品は日常的に点検する

絶縁劣化している可能性があるので定期点検が必要です。



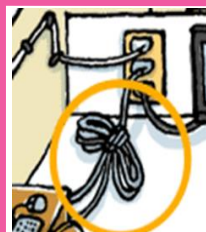
③ 重たい物をのせない

コードの一部分に圧力がかかると、その部分が電気抵抗となり発熱・発火する危険性が高くなります。



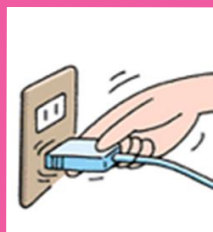
⑧ コードを釘やステップルで止めない

圧迫してしまうと、コードの中の電線が半断線状態になって電気抵抗が大きくなり、過熱して出火することがあります。



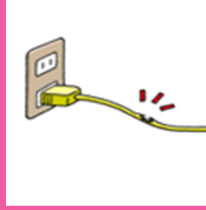
④ コードを束ねて使用しない

コードの熱の放散が悪くなり、過熱して出火する場合があります。また、コードをじゅうたん等の下に這わせた場合も、同様の理由で出火する場合があります。



⑨ コンセントや差込み部分が緩い場合、交換する

プラグが緩んでいると、過熱し、出火することがあります。プラグはコンセントにしっかりと差し込みましょう。



⑤ コードの折れ曲がり、極端な変形、被覆などに傷がある場合は交換する

感電やショートの原因となるので、傷んだプラグやコンセントは取り替えましょう。

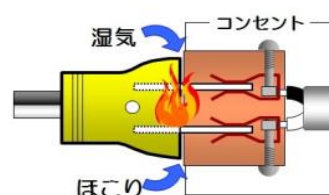
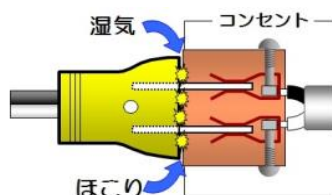


⑩ 素人工事をしない

電気の屋内配線工事や漏電遮断器の取り付けや壊れたコンセントの取り替えなど、電気工事が必要な場合、「電気工事士」の資格者がいる電気工事店に依頼してください。

2.トラッキング火災とは

長期間、電源プラグを差したまましていると、次第にホコリや湿気などが原因で、電源プラグの差込の間で火花放電が繰り返り発生し、電源プラグの差込の間に電気の通り道（トラック）ができます。そして、火花放電の熱がコンセントに接する絶縁部を加熱して、火災が発生するのがトラッキング火災です。



安全週間

今年度の標語が決まりました！

富山大学安全週間は、教職員及び学生の安全を確保するとともに、職務能率の向上に資することを目的として行うものです。本週間は毎年、全国安全週間の期間に合わせて実施しています。

環境安全推進センターでは、平成28年5月17日（火）～6月10日（金）の期間中に、平成28年度富山大学安全週間標語を募集しました。今年度は60作品と大変多くの応募があり、その中から今年度は以下の作品を平成28年度富山大学安全週間標語として採用いたしました。採用作品はポスター等に加加工し、富山大学安全週間中の安全活動の啓発に役立てさせていただきます。

多くのご応募
ありがとうございました



平成28年度安全週間標語

**身の周り「ヒヤリ」「ハット」が かくれんぼ
安全確認 もういいかい**



職員Sさん（学務部入試課）作



汚れた水を大学内の側溝に **流さないで!!**

学内の側溝は河川に直接つながっているため、次のような洗浄廃水は学内の側溝へ流さないようお願いいたします。水質汚濁防止法により、河川に放流される排水の水質は厳しく規制されています。

- ① **ワックス**を含んだ雑巾やモップなどの洗浄廃水
- ② **ペンキ**や塗装作業に使用した刷毛・ローラー・トレイなどの洗浄廃水
- ③ **食品汚れ（特に油）**の付着した鉄板・鍋・食器類などの洗浄廃水

なお、下水排除基準（下水道法）により、富山大学から排水される下水は厳しく規制されているため、上記①、②の洗浄廃水を、側溝だけでなく、流し台・洗面所・トイレ等にも廃棄しないようお願いいたします。

※学内掲示板ガールーンにてお知らせ



こんな所には流さないで！



グリーン活動日記



シバザクラの植栽

環境安全推進センターでは、水素同位体科学研究センターと協力し、過ごしやすい魅力あるキャンパスづくりのために、シバザクラの植栽を行いました。

当日は水素同位体科学研究センターの教職員や学生と一緒に、雑草が生えていた土手を耕し、防草シートを張り、150株のシバザクラを植えました。2～3年後には防草シートを覆うまでに成長し、きれいな姿を見せてくれることと思います。



編集後記

研究で使用する試薬の中には、大きな健康被害をおよぼすものがあります。今号でもお伝えしたとおり平成28年6月1日より危険有害性のある化学物質の容器には、GHSラベルが表示されることになりました。化学物質の健康被害は数年後や20～30年後に現れることもありますので、危険性を十分把握した上で取り扱うようご注意ください。

